

## パブコメ集計結果(実践型研究リーダー養成)

1. 総数: 7件

2. 賛否について:

○賛成:	3件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1件
○反対:	3件
計	7件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

### ①賛成

- ・博士号所有者の能力を生かし、研究分野とそれを用いて開発する民間との橋渡しをするようなポストが今後増えていくことにより、博士号所有者、民間企業、研究機関の3者が互いに協力することにより、全者が利益を得ることが可能となる制度であると考え。
- ・本事業の規模は拡充すべきである。このような、取り組みがあってはじめて、大学システムや大学院の教育プログラムの根本的な考え方が変革し、若手研究者が学界のみならず国際社会で活躍することができるようになります。
- ・22年度要求額 200 百万円が認められることを望む。博士人材には能力を発揮する場が産業界においてもっと必要である。

### ②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ポストク(特別研究員)の名前を変えただけの資金にならないようにしてほしい。

### ③反対

- ・縮減すべき。演習によって能力を開発することに国費を投じるよりも、ポスト確保の支援を行うべきである。
- ・実業界が望むのは役に立つ研究者であり、少数の Best Practice を作っても効果がありません。
- ・効果に疑問があります。またこのような事業は博士課程ではなく、大学の学部や修士レベルで行なうべきだと思います。